

調査結果の概要

I 青果物の卸売動向（表1・4・6・7・9参照）

平成22年（1～12月）の全国の青果物卸売市場における取扱いの状況は以下のとおりとなった。

1 野菜

野菜の卸売数量は1,058万tで、前年に比べ6%減少した。

これは、キャベツ、たまねぎをはじめとしたほとんどの品目で卸売数量が減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均214円で、前年に比べ14%上昇した。

これは、ねぎ、ほうれんそうをはじめとしたほとんどの品目で卸売価格が上昇したことなどによる。

卸売価額は2兆2,625億円で、前年に比べ8%増加した。

2 果実

果実の卸売数量は396万tで、前年に比べ9%減少した。

これは、みかん、りんご等の品目で卸売数量が減少したことなどによる。

卸売価格は1kg当たり平均271円で、前年に比べ12%上昇した。

これは、日本なし、かき等の品目で卸売価格が上昇したことなどによる。

卸売価額は1兆745億円で、前年に比べ2%増加した。

表1 青果物卸売数量・価額・価格（全国）

区 分		単 位	実 数			対 前 年 比		
			平成20年	21	22	平成20年	21	22
計	卸売数量	万t	1,573	1,560	1,455	100	99	93
	卸売価額	億円	32,655	31,560	33,370	99	97	106
野 菜	卸売数量	万t	1,136	1,124	1,058	99	99	94
	卸売価額	億円	21,463	20,998	22,625	101	98	108
	卸売価格	円/kg	189	187	214	102	99	114
果 実	卸売数量	万t	436	436	396	103	100	91
	卸売価額	億円	11,192	10,562	10,745	94	94	102
	卸売価格	円/kg	257	242	271	91	94	112

図1 野菜の卸売数量と卸売価額の推移

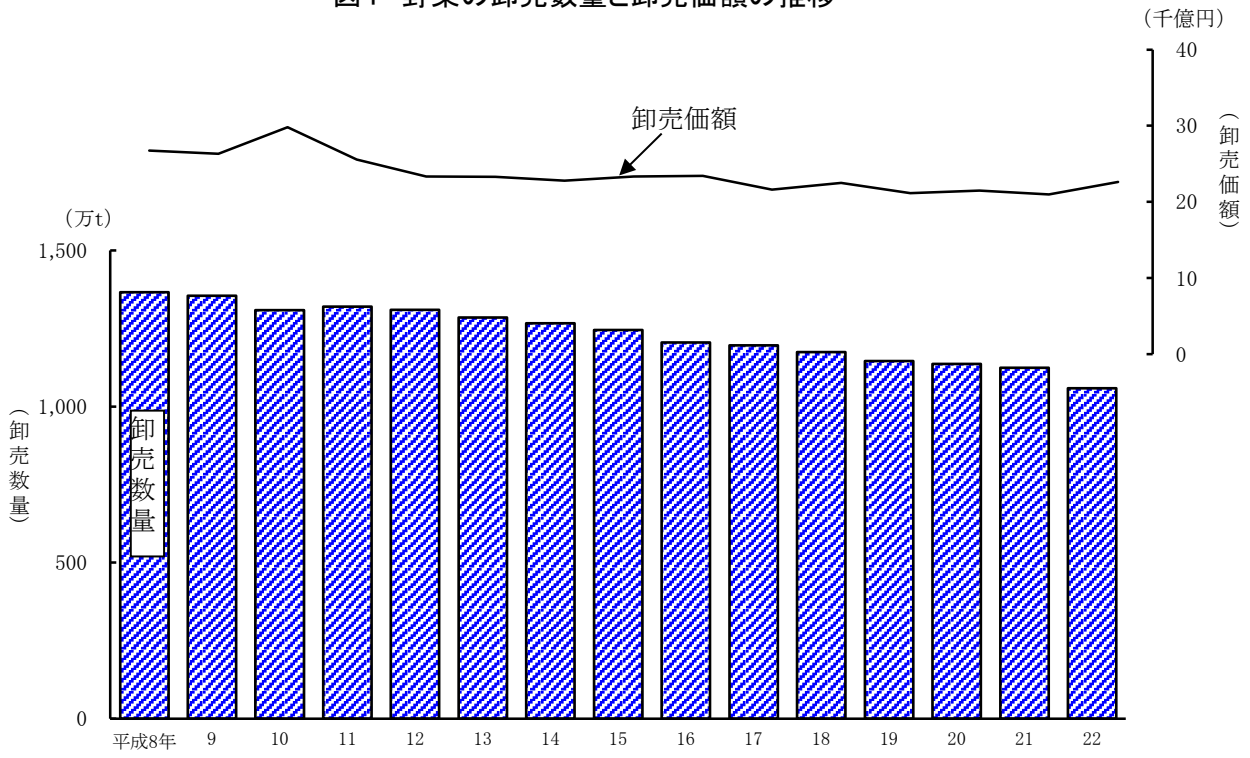
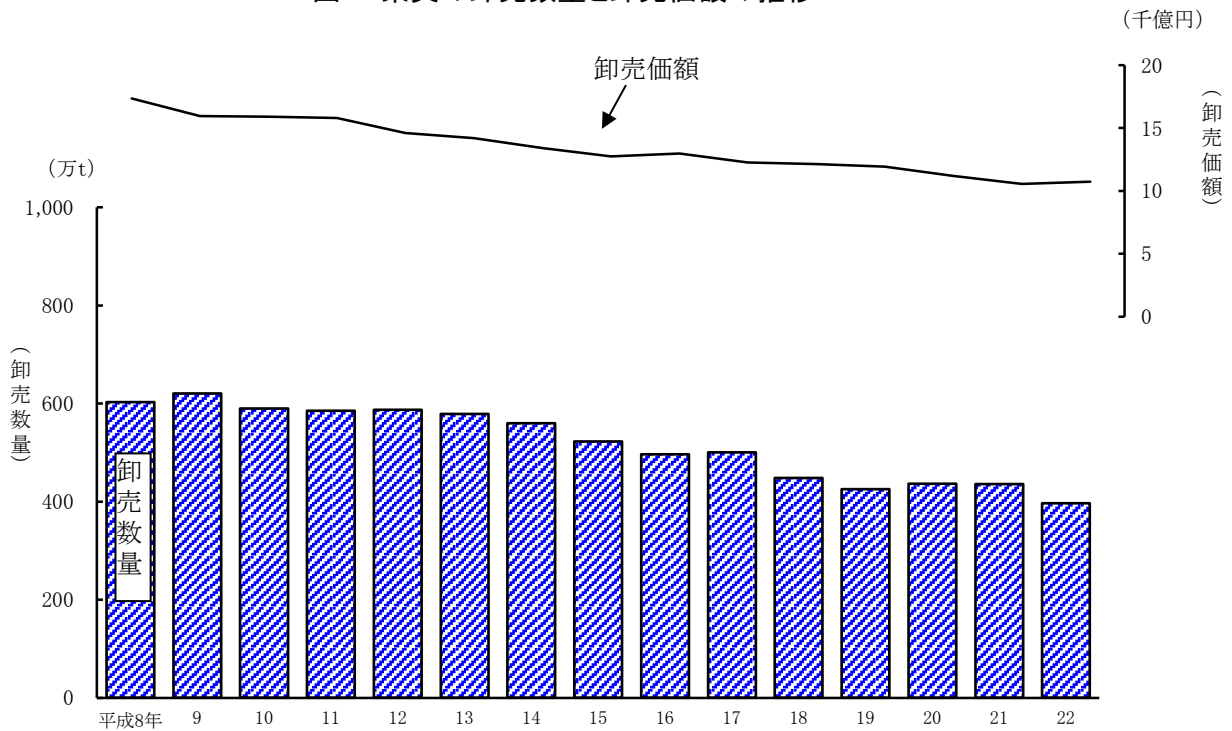


図2 果実の卸売数量と卸売価額の推移



3 主要都市※の市場における輸入野菜の動向（表2・3参照）

- (1) 卸売数量は25万7千7百tで、前年に比べ19%増加した。
これは、たまねぎ、にんじん、ねぎの輸入量が増加したことなどによる。
- (2) 輸入割合（各品目の卸売数量の総量に占める輸入の割合）の高い品目は、にんにく（50.3%）、かぼちゃ（42.2%）、アスパラガス（24.9%）、しょうが（19.5%）、さやえんどう（17.5%）等となっている。

※ 主要都市とは、①中央卸売市場が開設されている都市、②県庁が所在する都市、③人口20万人以上で、かつ青果物の年間取扱量がおおむね6万t以上の都市をいう。

なお、輸入野菜については、主要都市の市場計のみであり全国計の推定は行っていない（以下同じ。）。

表2 主な輸入野菜の卸売数量と輸入割合

品目	卸売数量						輸入割合		
	平成20年	対前年比	21	対前年比	22	対前年比	平成20年	21	22
	100 t	%	100 t	%	100 t	%	%	%	%
輸入野菜計	2,076	81	2,157	104	2,577	119	2.5	2.6	3.2
うちにんじん	83	92	84	101	138	165	1.6	1.6	2.8
ごぼう	62	76	48	77	45	94	5.6	4.3	4.1
たけのこ	12	65	10	81	8	85	8.7	6.7	4.9
キャベツ	7	88	13	179	12	99	0.1	0.1	0.1
ねぎ	100	57	85	85	127	149	3.8	3.3	5.3
アスパラガス	55	90	58	104	64	110	22.1	22.4	24.9
ブロッコリー	164	81	146	89	160	110	15.0	12.7	15.9
かぼちゃ	849	94	899	106	854	95	40.0	44.1	42.2
ピーマン	113	110	117	104	115	98	9.0	9.7	10.1
さやいんげん	8	73	10	127	11	116	4.3	5.4	7.4
さやえんどう	10	32	10	102	17	167	10.1	11.0	17.5
さといも	39	47	30	78	32	106	6.0	4.2	5.1
たまねぎ	231	68	315	136	658	209	2.5	3.6	8.0
にんにく	108	92	103	96	91	88	56.7	51.9	50.3
しょうが	79	69	73	92	67	92	23.6	21.4	19.5
生しいたけ	24	39	24	98	26	107	5.7	5.2	5.5

注：「輸入割合」は、各品目の卸売数量の総量に占める輸入の割合により算出した。

- (3) 国産品と輸入品の卸売価格を比較すると、国産品との価格差（国産品を100とした輸入品の価格比）が大きい品目のうち、輸入品が安い品目は、にんにく（27%）、ねぎ（40%）さやえんどう（43%）、生しいたけ（43%）等となっている。

表3 主な野菜の国産品と輸入品の卸売価格

品 目	平成20年			21			22		
	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比	卸売価格		国産品を 100と した輸入品 の価格比
	国産品	輸入品		国産品	輸入品		国産品	輸入品	
	円/kg	円/kg	%	円/kg	円/kg	%	円/kg	円/kg	%
にんじん	136	122	90	117	94	80	137	85	62
ごぼう	223	103	46	191	98	51	192	110	57
たけのこ	336	544	162	367	469	128	325	479	147
キャベツ	78	93	119	84	81	96	101	93	92
ねぎ	340	160	47	311	162	52	399	160	40
アスパラガス	987	786	80	958	751	78	985	727	74
ブロッコリー	304	268	88	280	266	95	325	290	89
かぼちゃ	155	142	92	182	109	60	175	137	78
ピーマン	376	525	140	389	477	123	449	529	118
さやいんげん	717	645	90	714	559	78	821	589	72
さやえんどう	1,022	366	36	1,086	430	40	1,089	467	43
さといも	257	119	46	202	119	59	229	140	61
たまねぎ	78	70	90	98	75	77	124	84	68
にんにく	1,457	159	11	951	160	17	979	267	27
しょうが	747	327	44	614	256	42	569	273	48
しいたけ	1,040	348	33	937	339	36	872	373	43

参考1 主な野菜の輸入国と輸入数量割合（平成22年計）

品 目	数量割合：%				
	1位	2位	3位	4位	5位
にんじん・かぶ	中国 85.6	ニュージーランド 5.5	オーストラリア 5.1	台湾 3.5	アメリカ 0.2
ごぼう	中国 94.6	台湾 5.4			
結球キャベツ	中国 81.2	韓国 12.6	台湾 6.1	インドネシア 0.1	オーストラリア 0.0
ねぎ	中国 100.0	韓国 0.0			
アスパラガス	メキシコ 37.4	オーストラリア 21.4	ペルー 13.9	タイ 12.0	アメリカ 9.7
ブロッコリー	アメリカ 98.9	中国 0.8	メキシコ 0.3	ウクライナ 0.0	オーストラリア 0.0
かぼちゃ	ニュージーランド 60.8	メキシコ 36.0	ニュー・カレドニア 1.8	トンガ 0.6	アメリカ 0.3
ピーマン	韓国 64.0	オランダ 21.3	ニュージーランド 14.7	オマーン 0.1	アメリカ 0.0
ささげ・いんげん まめ属の豆	オマーン 87.3	中国 12.4	メキシコ 0.3		
えんどう	中国 36.7	ベトナム 31.6	タイ 31.1	インドネシア 0.4	フィリピン 0.1
さといも	中国 99.9	トンガ 0.1			
たまねぎ	中国 69.8	アメリカ 20.5	ニュージーランド 6.3	オーストラリア 1.6	タイ 1.5
にんにく	中国 99.3	アメリカ 0.3	スペイン 0.1	アルゼンチン 0.1	韓国 0.1
しょうが	中国 96.3	タイ 1.8	インドネシア 1.8	台湾 0.1	ミャンマー 0.0
しいたけ	中国 99.9	韓国 0.1			

資料：財務省『貿易統計』

注：「ピーマン」は、厚肉大果種のものである。

II 主要品目の動向

1 野菜

表4 主要野菜の卸売数量

区 分	卸 売 数 量			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
野 菜 計	万 t	万 t	万 t	%	%	%
うち だいこん	1,136	1,124	1,058	99	99	94
にはくさい	110	108	103	100	99	96
はきゃべ	68	69	67	94	101	97
きょうろそう	90	89	85	99	99	96
ねれんそ	142	142	135	100	100	95
ねれんそ	17	16	13	101	97	83
ねれんそ	36	36	32	100	99	89
ねれんそ	59	58	56	98	99	97
ねれんそ	55	56	52	97	101	94
ねれんそ	32	30	26	97	95	85
ねれんそ	51	50	45	97	98	90
ねれんそ	16	16	15	98	97	97
ねれんそ	76	72	70	99	96	97
ねれんそ	9	10	8	100	112	85
ねれんそ	120	116	109	100	96	94

表5 主要野菜の卸売価額

区 分	卸 売 価 額			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
野 菜 計	億円	億円	億円	%	%	%
うち だいこん	21,463	20,998	22,625	101	98	108
にはくさい	820	791	898	104	97	114
はきゃべ	915	792	890	134	87	112
きょうろそう	569	541	598	114	95	111
ねれんそ	1,076	1,167	1,349	100	108	116
ねれんそ	660	653	639	99	99	98
ねれんそ	1,167	1,060	1,219	106	91	115
ねれんそ	959	919	1,105	89	96	120
ねれんそ	1,473	1,371	1,467	98	93	107
ねれんそ	874	836	801	97	96	96
ねれんそ	1,397	1,464	1,566	90	105	107
ねれんそ	619	611	685	96	99	112
ねれんそ	776	922	1,067	108	119	116
ねれんそ	215	192	187	103	89	97
ねれんそ	925	1,120	1,301	102	121	116

表6 主要野菜の卸売価格

区 分	卸 売 価 格			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
野 菜 計	円/kg	円/kg	円/kg	%	%	%
うち だいこん	189	187	214	102	99	114
にはくさい	75	73	87	104	97	119
はきゃべ	134	115	134	141	86	117
きょうろそう	63	61	70	117	97	115
ねれんそ	76	82	100	100	108	122
ねれんそ	400	407	480	98	102	118
ねれんそ	322	295	381	106	92	129
ねれんそ	164	158	196	91	96	124
ねれんそ	267	246	281	101	92	114
ねれんそ	276	276	310	100	100	112
ねれんそ	272	291	345	93	107	119
ねれんそ	383	391	451	98	102	115
ねれんそ	103	128	151	110	124	118
ねれんそ	242	193	221	103	80	115
ねれんそ	77	97	119	103	126	123

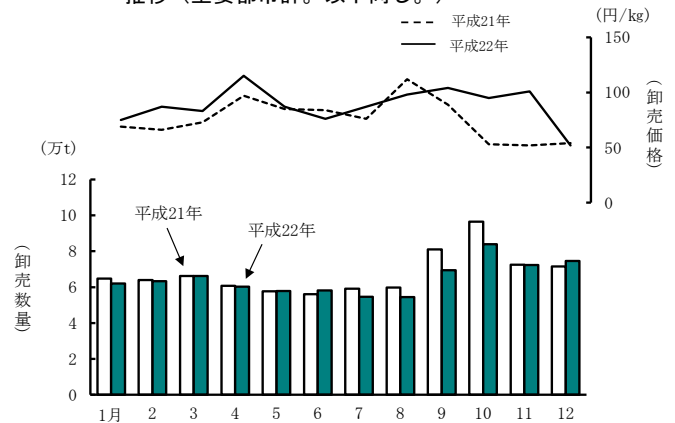
(1) だいこん (表4・6、図3参照)

平成22年の全国の青果物卸売市場における(以下同じ。)卸売数量は103万tで、前年に比べ4%減少した。

これは、7月下旬以降の高温等の影響により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は87円で、9・10月の入荷量の大幅な減少などから高値で推移したため、前年に比べ19%上昇した。

図3 だいこんの月別卸売数量と卸売価格の推移(主要都市計。以下同じ。)



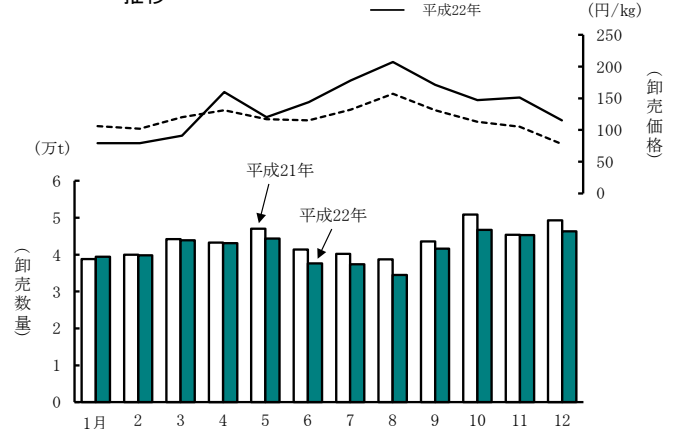
(2) にんじん (表4・6、図4参照)

卸売数量は67万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、7月下旬以降の高温の影響により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は134円で、5月以降の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ17%上昇した。

図4 にんじんの月別卸売数量と卸売価格の推移

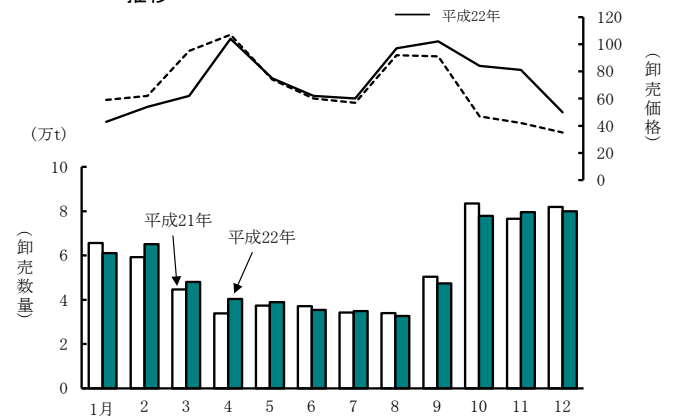


(3) はくさい (表4・6、図5参照)

卸売数量は85万tで、前年に比べ4%減少した。

卸売価格は70円で、9月以降入荷量がおおむね前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ15%上昇した。

図5 はくさいの月別卸売数量と卸売価格の推移

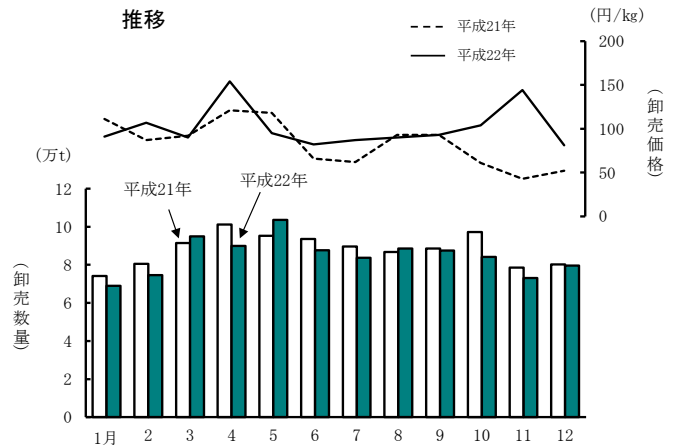


(4) キャベツ (表4・6、図6参照)

卸売数量は135万 tで、前年に比べ5%減少した。

卸売価格は100円で、10・11月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ22%上昇した。

図6 キャベツの月別卸売数量と卸売価格の推移



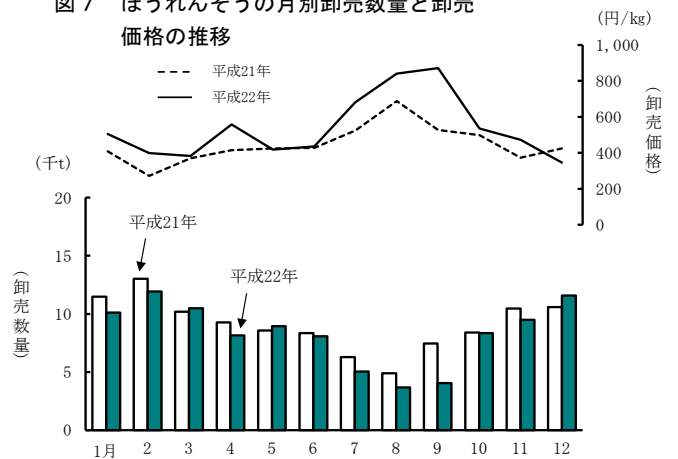
(5) ほうれんそう (表4・6、図7参照)

卸売数量は13万 tで、前年に比べ17%減少した。

これは、生育期間の高温・少雨の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は480円で、7～9月の入荷量の大幅な減少などから高値で推移したため、前年に比べ18%上昇した。

図7 ほうれんそうの月別卸売数量と卸売価格の推移



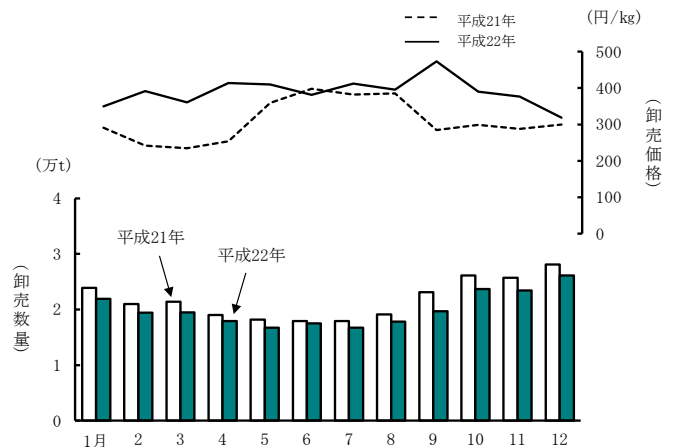
(6) ねぎ (表4・6、図8参照)

卸売数量は32万 tで、前年に比べて11%減少した。

これは、生育期間の日照不足や高温の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は381円で、1年間を通して入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ29%上昇した。

図8 ねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



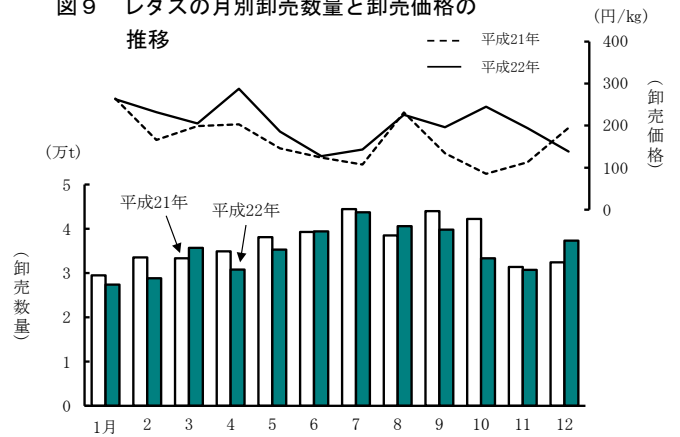
(7) レタス (表4・6、図9参照)

卸売数量は56万 tで、前年に比べ3%減少した。

これは、生育期間の高温の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は196円で、9・10月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ24%上昇した。

図9 レタスの月別卸売数量と卸売価格の推移



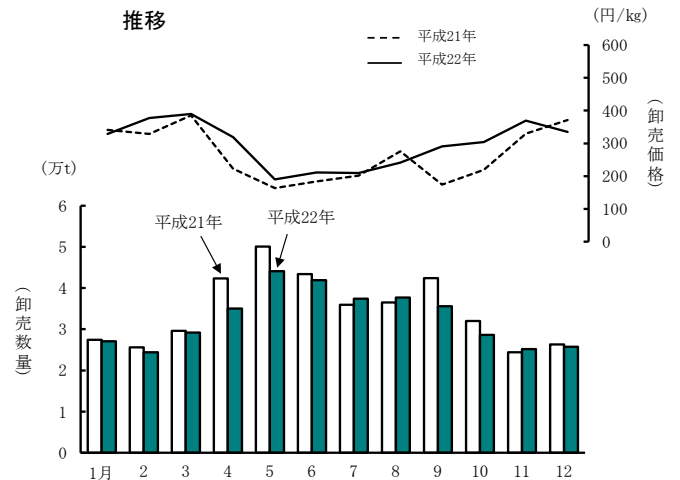
(8) きゅうり (表4・6、図10参照)

卸売数量は52万 tで、前年に比べ6%減少した。

これは、生育期間の天候不順や高温の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は281円で、4・5月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ14%上昇した。

図10 きゅうりの月別卸売数量と卸売価格の推移



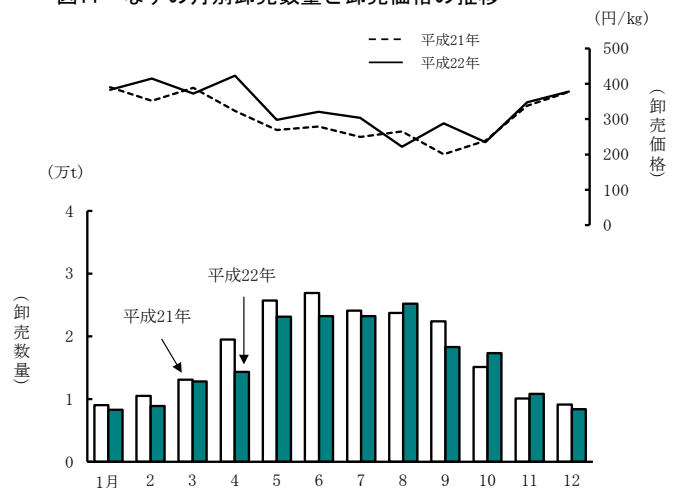
(9) なす (表4・6、図11参照)

卸売数量は26万 tで、前年に比べ15%減少した。

これは、生育期間の日照不足の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は310円で、4～7月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ12%上昇した。

図11 なすの月別卸売数量と卸売価格の推移



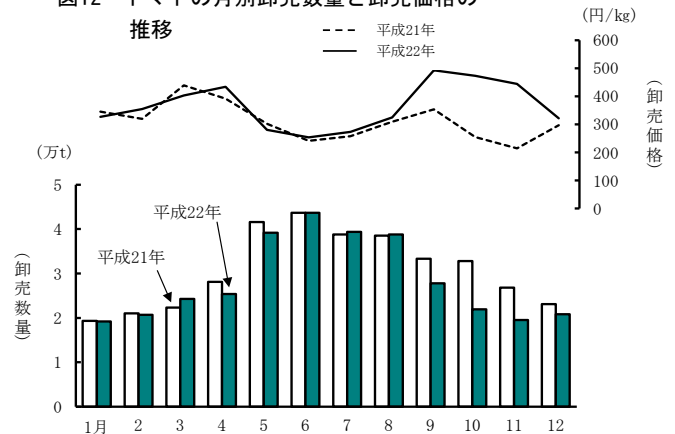
(10) トマト (表4・6、図12参照)

卸売数量は45万tで、前年に比べ10%減少した。

これは、7月下旬以降の高温等の影響により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は345円で、9月以降の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ19%上昇した。

図12 トマトの月別卸売数量と卸売価格の推移



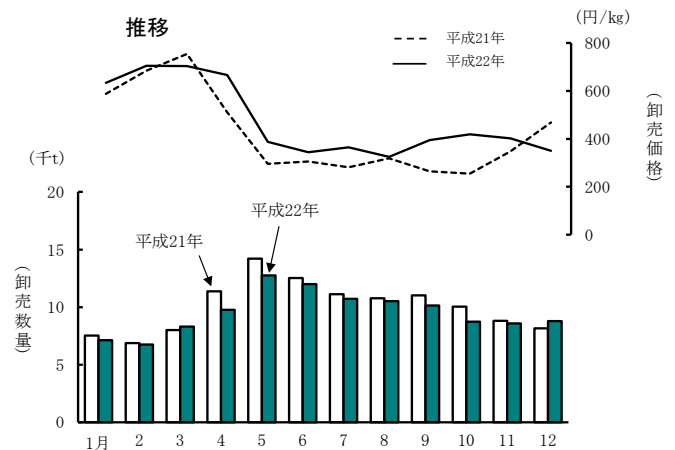
(11) ピーマン (表4・6、図13参照)

卸売数量は15万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、生育期間の日照不足や高温の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は451円で、4~11月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ15%上昇した。

図13 ピーマンの月別卸売数量と卸売価格の推移



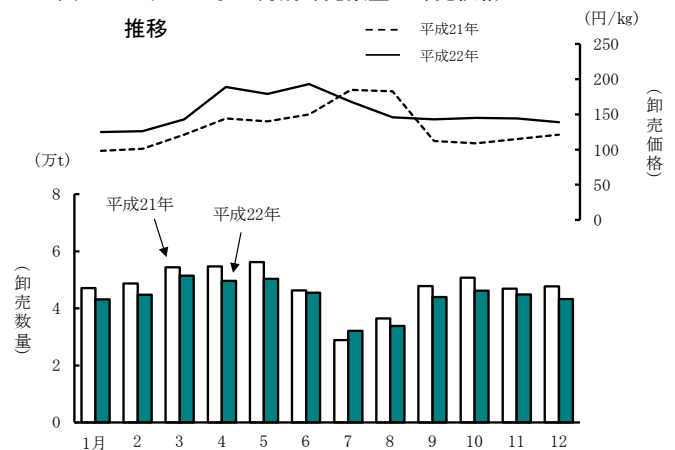
(12) ばれいしょ (表4・6、図14参照)

卸売数量は70万tで、前年に比べ3%減少した。

これは、ほぼ1年間を通して高温の影響等により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は151円で、ほぼ1年間を通して入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ18%上昇した。

図14 ばれいしょの月別卸売数量と卸売価格の推移



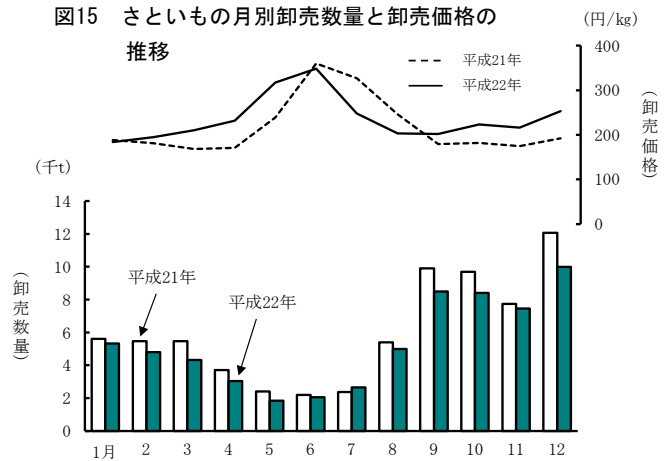
(13) さといも (表4・6、図15参照)

卸売数量は8万tで、前年に比べて15%減少した。

これは、生育期間の高温・少雨の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は221円で、9月以降の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ15%上昇した。

図15 さといもの月別卸売数量と卸売価格の推移



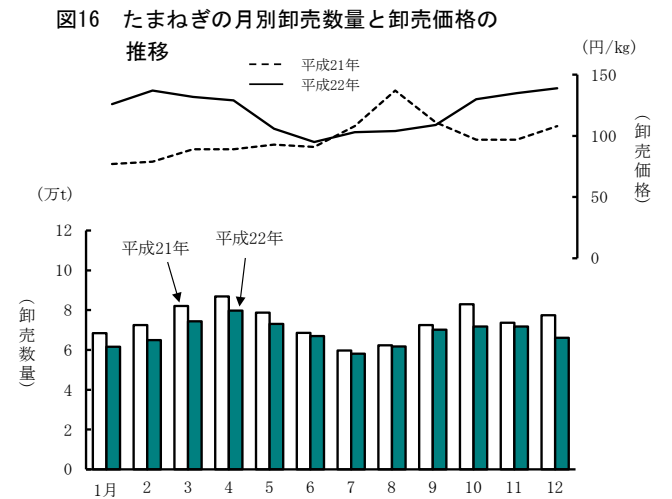
(14) たまねぎ (表4・6、図16参照)

卸売数量は109万tで、前年に比べ6%減少した。

これは、生育期間の高温等の影響により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は119円で、1～5月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ23%上昇した。

図16 たまねぎの月別卸売数量と卸売価格の推移



2 果実

表7 主要果実の卸売数量

区 分	卸 売 数 量			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
果 実 計	万 t	万 t	万 t	%	%	%
うち み か ん	436	436	396	103	100	91
い よ か ん	80	76	68	103	95	89
り ん ご	10	9	9	107	88	105
日 本 な し	68	71	51	102	105	72
か き も	21	20	17	116	96	83
も も	18	19	13	112	101	68
ぶ ぶ	11	10	10	107	96	94
い ち ち	11	11	10	98	98	90
メ ロ ン	17	16	17	105	93	106
す い か	20	18	18	90	94	99
バ ナ ナ	38	37	35	97	96	95
グ レ ー プ フ ル ー ツ	58	66	63	105	114	96
オ レ ン ジ	12	11	12	84	91	105
	7	7	8	116	92	126

表8 主要果実の卸売価額

区 分	卸 売 価 額			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
果 実 計	億円	億円	億円	%	%	%
うち み か ん	11,192	10,562	10,745	94	94	102
い よ か ん	1,563	1,357	1,466	96	87	108
り ん ご	126	134	111	72	107	83
日 本 な し	1,440	1,353	1,227	89	94	91
か き も	477	459	527	87	96	115
も も	348	340	371	94	98	109
ぶ ぶ	415	394	428	98	95	109
い ち ち	707	685	709	92	97	104
メ ロ ン	1,591	1,489	1,542	96	94	104
す い か	795	716	724	89	90	101
バ ナ ナ	624	550	607	101	88	110
グ レ ー プ フ ル ー ツ	861	915	753	114	106	82
オ レ ン ジ	182	160	157	78	88	98
	132	123	141	84	93	114

表9 主要果実の卸売価格

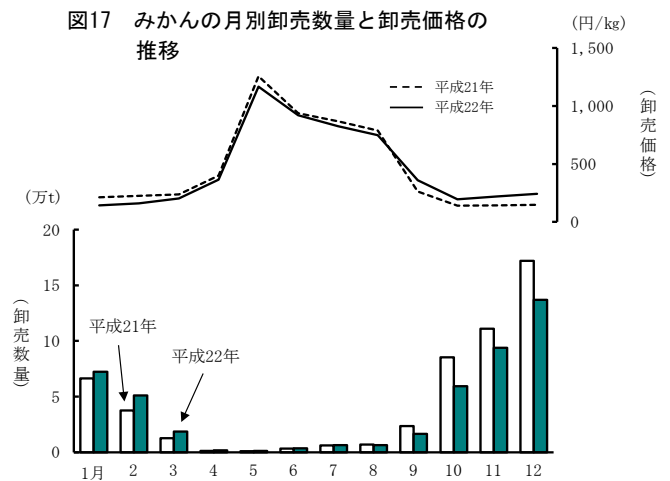
区 分	卸 売 価 格			対 前 年 比		
	平成20年	21	22	平成20年	21	22
果 実 計	円/kg	円/kg	円/kg	%	%	%
うち み か ん	257	242	271	91	94	112
い よ か ん	195	178	216	94	91	121
り ん ご	127	154	122	67	121	79
日 本 な し	212	190	240	88	90	126
か き も	224	225	312	75	100	139
も も	189	183	296	84	97	162
ぶ ぶ	394	390	448	92	99	115
い ち ち	617	610	705	94	99	116
メ ロ ン	932	942	924	91	101	98
す い か	407	390	399	99	96	102
バ ナ ナ	164	150	174	104	91	116
グ レ ー プ フ ル ー ツ	149	139	120	108	93	86
オ レ ン ジ	150	145	135	93	97	93
	180	182	166	72	101	91

(1) みかん (表7・9、図17参照)

卸売数量は68万tで、前年に比べ11%減少した。

これは、主産地である和歌山県、愛媛県等で高温の影響等により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は216円で、年末において入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ21%上昇した。

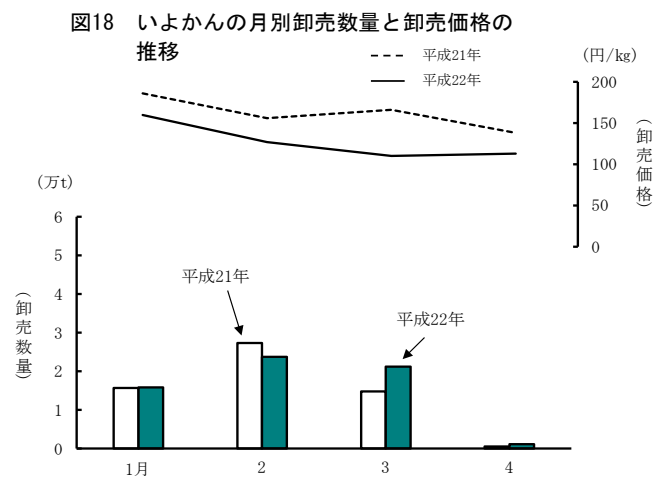


(2) いよかん (表7・9、図18参照)

卸売数量は9万tで、前年に比べ5%増加した。

これは、3月の入荷量が大幅に増加したことなどによる。

卸売価格は122円で、入荷量の大幅な増加などから安値で推移したため、前年に比べ21%低下した。

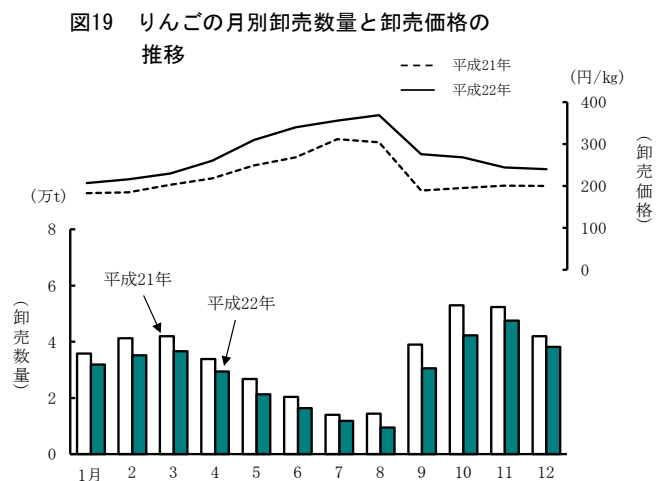


(3) りんご (表7・9、図19参照)

卸売数量は51万tで、前年に比べ28%減少した。

これは、1年間を通して入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は240円で、1年間を通して入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ26%上昇した。



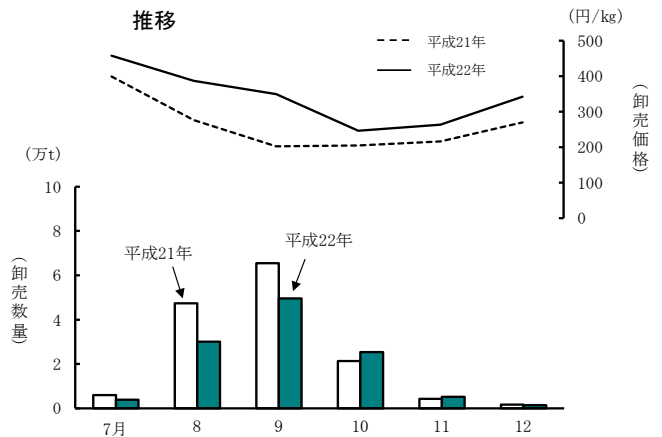
(4) 日本なし (表7・9、図20参照)

卸売数量は17万 tで、前年に比べ17%減少した。

これは、開花期の天候不順の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は312円で、主な出荷期間である8・9月の入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ39%上昇した。

図20 日本なしの月別卸売数量と卸売価格の推移



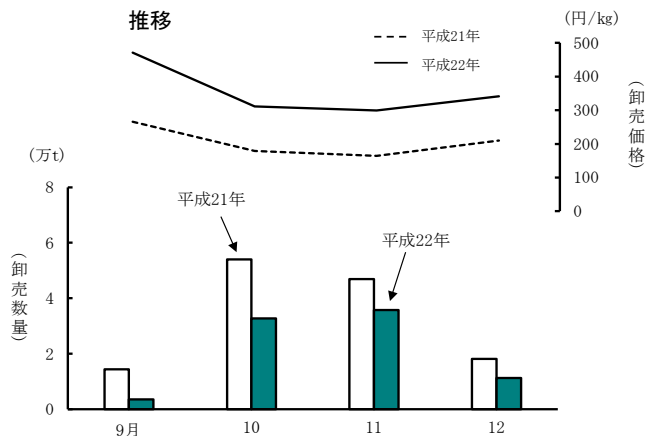
(5) かき (表7・9、図21参照)

卸売数量は13万 tで、前年に比べ32%減少した。

これは、主産地である和歌山県、奈良県等で天候不順の影響により入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は296円で、入荷量の大幅な減少などから高値で推移したため、前年に比べ62%上昇した。

図21 かきの月別卸売数量と卸売価格の推移



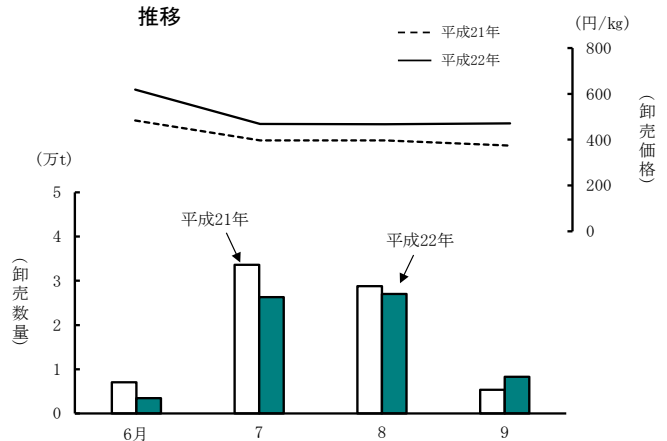
(6) もも (表7・9、図22参照)

卸売数量は10万 tで、前年に比べ6%減少した。

これは、主産地である山梨県等で開花期の天候不順で結果数が少なかったことにより、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は448円で、主な出回り期間である7・8月の入荷量が前年を下回ったことなどから高値で推移したため、前年に比べ15%上昇した。

図22 ももの月別卸売数量と卸売価格の推移



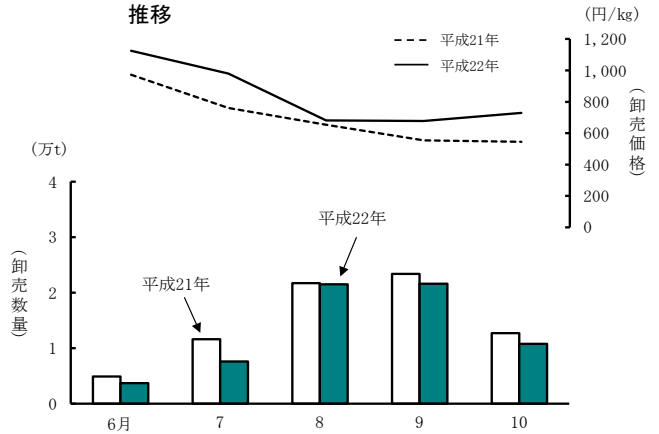
(7) ぶどう (表7・9、図23参照)

卸売数量は10万tで、前年に比べ10%減少した。

これは、果実肥大期の高温の影響等により、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は705円で、9・10月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ16%上昇した。

図23 ぶどうの月別卸売数量と卸売価格の推移



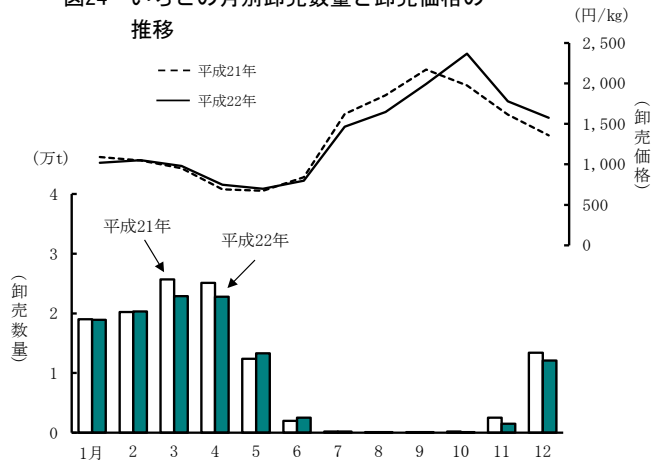
(8) いちご (表7・9、図24参照)

卸売数量は17万tで、前年に比べ6%増加した。

これは、曇天や低温の影響により3・4月の入荷量が減少したものの、おおむね順調に入荷したことなどによる。

卸売価格は924円で、入荷量の増加などから安値で推移したため、前年に比べ2%低下した。

図24 いちごの月別卸売数量と卸売価格の推移



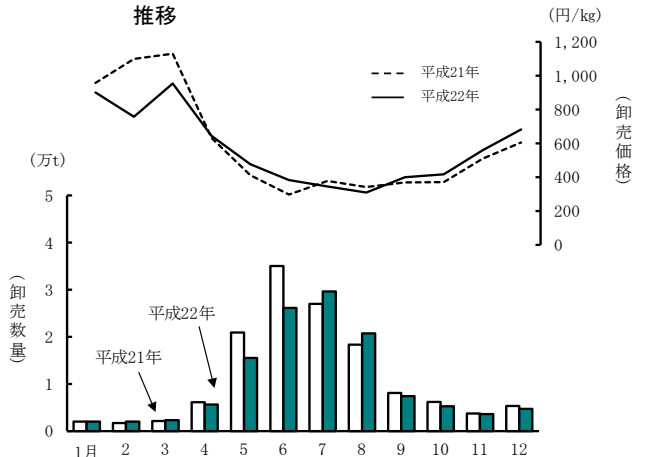
(9) メロン (表7・9、図25参照)

卸売数量は18万tで、前年に比べ1%減少した。

これは、春先の天候不順により生育が遅れ、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は399円で、4～6月の入荷量の減少などから高値で推移したため、前年に比べ2%上昇した。

図25 メロンの月別卸売数量と卸売価格の推移



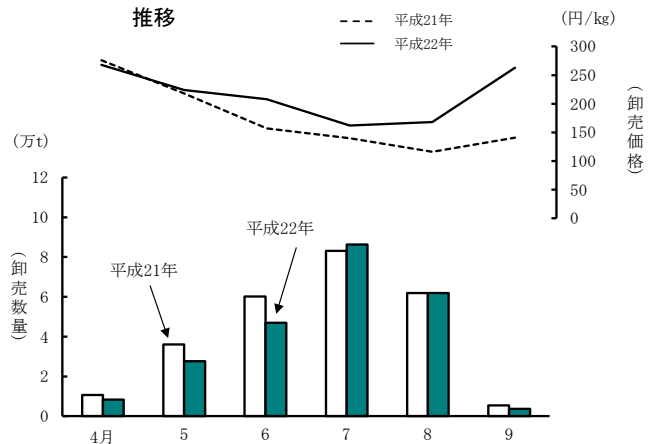
(10) すいか (表7・9、図26参照)

卸売数量は35万tで、前年に比べ5%減少した。

これは、春先の天候不順により生育が遅れ、入荷量が減少したことなどによる。

卸売価格は174円で、夏期の高温により需要が高かったことなどから高値で推移したため、前年に比べ16%上昇した。

図26 すいかの月別卸売数量と卸売価格の推移



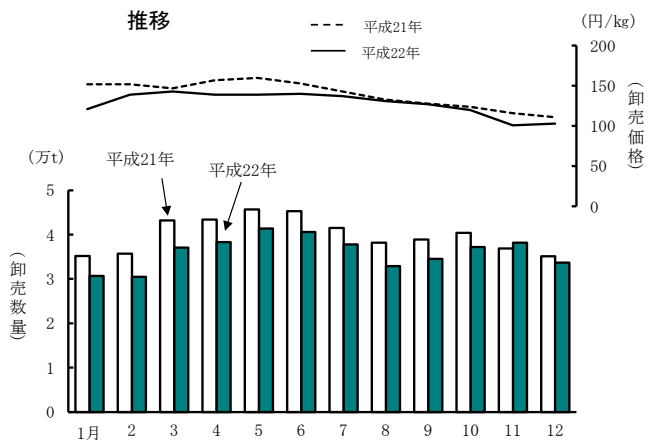
(11) バナナ (表7・9、図27参照)

卸売数量は63万tで、前年に比べ4%減少した。

これは、フィリピン産の輸入量が減少したことなどによる。

卸売価格は120円で、輸入量が増加したものの需要が伸び悩んだことなどから安値で推移したため、前年に比べ14%低下した。

図27 バナナの月別卸売数量と卸売価格の推移



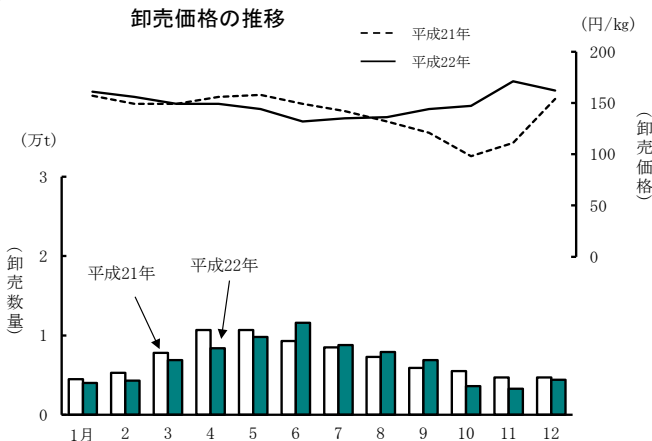
(12) グレープフルーツ (表7・9、図28参照)

卸売数量は12万tで、前年に比べ5%増加した。

これは、アメリカ (フロリダ) 産等の輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は135円で、入荷量の増加などから安値で推移したため、前年に比べ7%低下した。

図28 グレープフルーツの月別卸売数量と卸売価格の推移



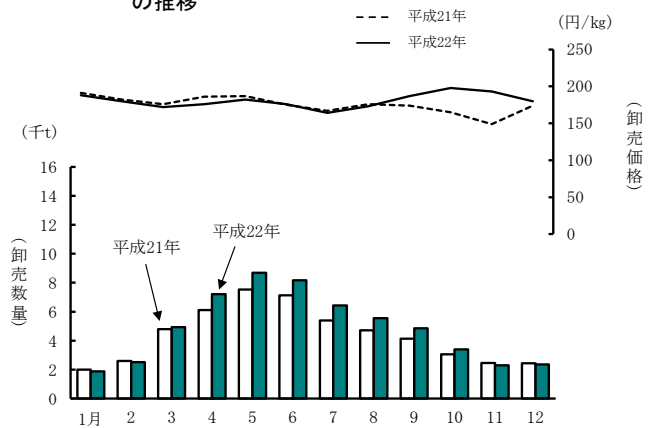
(13) オレンジ (表7・9、図29参照)

卸売数量は8万tで、前年に比べ26%増加した。

これは、アメリカ (カリフォルニア) 産等の輸入量が増加したことなどによる。

卸売価格は166円で、入荷量の増加などから安値で推移したため、前年に比べ9%低下した。

図29 オレンジの月別卸売数量と卸売価格の推移



参考2 主な果実の輸入国と輸入数量割合 (平成22年計)

品 目	数量割合 : %				
	1位	2位	3位	4位	5位
バナナ	フィリピン 93.3	エクアドル 4.2	台湾 0.9	ペルー 0.7	メキシコ 0.3
パイナップル	フィリピン 99.3	台湾 0.7	アメリカ 0.0	パナマ 0.0	
レモン	アメリカ 69.8	チリ 24.6	メキシコ 3.3	ニュージーランド 1.5	南アフリカ 0.8
グレープフルーツ	アメリカ 71.1	南アフリカ 25.5	イスラエル 2.0	スワジランド 1.3	オーストラリア 0.0
オレンジ	アメリカ 68.6	オーストラリア 23.0	南アフリカ 6.5	チリ 1.8	イタリア 0.1
さくらんぼ	アメリカ 99.0	チリ 0.5	オーストラリア 0.2	ニュージーランド 0.2	カナダ 0.0
キウイフルーツ	ニュージーランド 97.0	チリ 2.7	アメリカ 0.2	韓国 0.0	
メロン	メキシコ 68.1	アメリカ 28.4	韓国 3.3	ニュージーランド 0.2	中国 0.1

資料：財務省『貿易統計』